

すべての大人に
知ってもらいたい

—— こどものこころの不調を和らげるために —— 今、大人の私たちができること

こどもが成長する中で関わる、親、祖父母、親せき、園や学校の先生、
習い事の先生、近所の人など、様々な大人の言動は、こどもの脳の発達や
成人後の健康にまで影響を与えていると言われています。

周りの大人の不適切な関わりが続くと、生涯にわたってこころの不調を抱えやすく、
生活の質を脅かすリスクも高まることから、将来の生きづらさにつながることも・・・
こどもの権利を尊重し、こころの不調を抱えるこどもを増やさないように、そして、
悩みを抱えたこどもたちのSOSを受け止めるために、
大人の私たちができることをまとめました。

忍耐力をつけるため、困難を乗り越えさせるため、早く自立できるように・・・
その行動、「こどものため」と思っていないませんか？

いうことを聞かないから
手加減して叩く



禁止や否定的な
表現で叱る



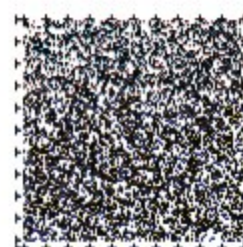
どなったり、
人と比べる

これまでの
「当たり前」は
もう古い!



命令や指示で
こどもを支配する

こどもの脳とこころがすくすく育つこどもとの向き合い方
について、最近の脳科学に基づきご紹介します。
こどもの自尊感情が高まるまちを目指して、
これまでの知識や考えをアップデートしましょう!



こどもだって、悩みや不安を抱えている

〈過去1年に悩みや不安、ストレスを感じたこどもの割合〉

自分のことが好きなこどもでは



自分のことが好きではないこどもでは



※和泉市小中学生アンケートより

自分のことが好きではないと感じているほど悩みや不安を抱えやすくなります。

こどもが抱える悩みや不安に**気づき、耳を傾ける**大人がまわりにいることで、こどもは自分を大切な存在と実感でき、**将来のこころの不調を和らげる**ことにもつながります。

こどものこころが健やかに育つまちを目指して

こどもの傷つき体験を減らすためにも、自分が大切に尊い存在だと実感できる環境に・・・

家庭以外に安心して
居られる集団がある



信頼でき、相談できる
大人がいる

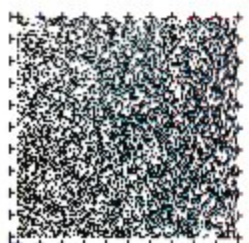
自分を認めてくれ、存在を
感じられる居場所がある



こどもの不調を感じた時やこどもとの関わりに悩んだときはご相談を!

妊娠期から就学まで	こどもまんなかセンター	保健センター	47-1551
		保健福祉センター	57-6620
18歳まで		子育て支援室	99-8135
小学生～中学生まで	学校教育室		99-8159
	教育センター		58-7163

『こどものこころの不調を和らげるために今、大人の私たちができること』



発行

和泉市自殺対策連絡会議事務局（市立保健センター内）

TEL: 0725-47-1551